

各幼稚園長  
各小・中・高等学校長  
広島中等教育学校長  
広島特別支援学校長  
様

健康教育課  
学校安全対策担当課長

学校における熱中症事故の防止及び児童生徒等の健康管理の徹底について（通知）

現在、新型コロナウイルス感染症対策として、マスクを外で外す機会をできるだけ少なくするようお願いしているところですが、一方で、マスクの着用により、心拍数や呼吸数、血中二酸化炭素濃度、体感温度の上昇など、身体に負担がかかることがあるため、高温・多湿の環境下では、熱中症のリスクが高まります。

については、引き続き、下記事項を参照の上、新型コロナウイルス感染予防に留意しつつ、熱中症予防対策を優先して行うとともに、児童生徒等に熱中症の疑いがある症状が見られた場合には、早期に水分・塩分補給、身体の冷却、医療機関への搬送等、適切な応急手当等をお願いします。

## 記

### 【主な留意点】

#### 1 環境条件の把握と対応

熱中症指数計を用いて暑さ指数(WBGT)を計測するなど、環境条件を適宜把握するとともに、暑さ指数(WBGT)が31℃以上の場合、原則として屋外・屋内を問わず活動を中止する。

(「広島市熱中症対策ガイドライン～熱中症指数計の活用にあたって～」の適切な運用)

《書庫掲載場所：1総務>5庶務>学校保健(健康教育課)>熱中症ガイドライン》

#### 2 児童生徒等の体調管理と水分補給

(1) 健康観察(検温や体調の管理等)により児童生徒等の健康状態を把握し、体調が優れない児童生徒等は無理をさせない。また、水分補給や休息等を適切に設ける。

(2) 水分を摂る回数が、気付かないうちに減ることがあるため、児童生徒等に、のどが渇いていなくてもこまめに水分補給をするよう指導する。

※ 登下校中も含め、十分な水分補給ができるよう、各自、必要に応じて水筒を持参するよう指導する。

#### 3 新型コロナウイルス感染防止のための「学校の新しい生活様式」における熱中症予防対策

気温・湿度や暑さ指数(WBGT)が高い日には、熱中症などの健康被害が発生するおそれがあるため、健康被害が発生する可能性が高いと判断した場合は、マスクを外すよう指導する。

(1) マスクを外す場合には、できるだけ人との十分な距離(2m以上)を保つ、近距離での会話を控えるようにするなどの配慮をすることが望ましいが、熱中症も命に関わる危険があることを踏まえ、熱中症への対応を優先する。

(2) 児童生徒等本人が暑さで息苦しいと感じた時などには、マスクを外したり、一時的に片耳だけかけて呼吸したりするなど、自身の判断でも適切に対応できるように指導する。

(3) 登下校時も同様に気温・湿度や暑さ指数(WBGT)が高い時はマスクを外すよう指導する。

※ 小学生など、自分でマスクを外してよいかどうか判断が難しい低年齢の子供には、下校時等に、積極的に声を掛けるなどの指導を行う。

※ マスクを外す場合は、人と十分な距離(2m以上)を確保する、会話を控えることに加えて、特に児童生徒が一人で登下校をする場面では、マスクを外してよいことを指導する。

#### 4 その他

日傘の使用や帽子の着用等、暑さ対策の用品の持参については、柔軟に対応する。

【担当】 健康教育課：小島指導主事

山根指導主事

504-2491